

|           |               |      |    |    |
|-----------|---------------|------|----|----|
| 講義名       | 業界研究（サービス業）   |      |    |    |
| 担当教員      | 山口 泰雄 / 辻本 千春 |      |    |    |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 水曜日 3時限    | 授業形態 | 講義 |    |
| 履修開始年次    | 2年生           | 単位数  | 2  | 備考 |

**主題と概要**

日本は現在、サービス業つまり第3次産業のシェアが産業全体の7割を占めています。特に重長厚大と言われた産業が新興国の価格競争を含めた技術進歩により衰退し、新しい産業が興りにくい状況の中、特に観光産業を含むサービス産業に活路を見出だそうとしています。

この企業論特別講義（サービス業）では、サービス産業としてこれからの時代を勝ち抜いていく企業、組織のトップ、経営幹部の方々にそれぞれの業界の現況、自企業の業務内容および将来へのビジョン等を熱く講義していただく予定です。

**到達目標**

a. 知識・理解 ・サービス業の先頭を走る企業の活動内容を理解することができるようになる。  
 ・これからのサービス業がどのように変わっていくかを理解できるようになる。

b. 思考・判断 ・企業マネジメントの優れている点を説明できるようになる。

c. 関心・意欲 ・企業のイノベーションについて述べるようになる。

d. 技能・技術 ・自分のキャリアにおいて進みたい業種について理解または比較できるようになる。

e. その他 ・学んだ企業マネジメントを他業種の企業に適用することができるようになる。

**提出課題**

・毎回の講義についてレポートを書いてもらいます。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

・講義レポートには、授業で学んだ重要な点や最も印象に残ったことを書いてもらいますので、フィードバックはありませんが評価の対象になります。

・講義に対する質問は後日確認のうえできるだけ解答します。

**評価の基準**

・平常点40%およびレポート60%とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻は平常点の減点対象とします。

**履修にあたっての注意・助言他**

・社会人、さらに企業や団体の経営幹部をお招きしての講義です。

・通常の講義でも当然ですが、私語や居眠りは厳禁です。これについては厳しく対処します。

・講義中の内容のある質問は加算します。

| 教科書     |  |  |  |  |
|---------|--|--|--|--|
| .使用しない。 |  |  |  |  |
|         |  |  |  |  |
|         |  |  |  |  |
|         |  |  |  |  |

**プリント資料及び参考文献**

各講義で配布されます。

**授業計画**

2月現在、下記のようなサービス業分野の講義を予定しています。

前半

- ・観光局（観光全般）
- ・ホテル・旅館（宿泊業）
- ・観光地施設（観光業）
- ・テーマパーク（テーマパーク業）
- ・総合旅行業（旅行業）
- ・デジタル・プリンティング（観光周辺産業）
- ・球場管理（観光周辺産業）

後半

- ・スポーツメーカー（用品）分野
- ・スポーツメーカー（用品）分野
- ・スポーツメディア（情報）分野
- ・プロスポーツ（ハイブリッド）分野
- ・プロスポーツ（ハイブリッド）分野
- ・スポーツツーリズム（ハイブリッド）分野
- ・講義（スポーツ産業・振り返り）

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習）                       | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート                     | エ：グループワーク                                  |
| オ：プレゼンテーション                          | カ：実習、フィールドワーク                              |
| キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） |  |

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

復習・・・各講義後に復習を行い、講義ごとにレポートを作成（2時間）提出してもらいます。

予習・・・次回講義における質問を考えるなどの課題を考えてもらいます（2時間）。講義最後に連絡 します。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

サービス業の各分野を代表する企業の経営層の方に講義をしていただき、強い精神力、大学で学ぶ知識の活用方法、想像力、自立の精神、そして人との協働により物事成し遂げることのむつかしさを学ぶ。 直に、経営の話聞くことで業界全体のイメージをつかみ、自分のキャリアを考えるきっかけにできる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

山口泰雄： スポーツイベントの運営と評価 市民マラソン大会の運営と評価 神戸スポーツ産業懇話会の運営

辻本千春：近畿日本ツーリスト株式会社において、主に海外旅行プログラムのソリユ ション営業、つまり個人旅行ではなく組織や団体の問題を解決するための企画を約30年間担当しました。その間に身につけた知識や情報、その入手方法を含めて、旅行企画や観光、観光事業における具体的な内容を講義するとともに、退社後に大学院で学んだ「観光による地域活性化」について一緒に考えます。また、タイのバンコクでの4年間の駐在経験をもとに、海外で働くことの意味や海外から日本を見ることの大切さも伝えます。

**備考**

- ・外部招聘講師のテーマと担当日程が決まり次第、公開します。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。